

南海電気鉄道株式会社×帝塚山学院大学 泉北ニュータウン地域の活性化へ向けて連携協定を締結 —1月13日「泉ヶ丘駅 commons」オープニングセレモニーにて締結報告—

帝塚山学院大学（大阪府堺市／学長：西川 隆蔵^{にしかわ りゅうぞう}）と南海電気鉄道株式会社（大阪市浪速区／代表取締役社長：岡嶋 信行^{おかじま のぶゆき}）は、泉北ニュータウンおよび周辺地域の活性化を目的に、2025 年 12 月 19 日に連携協定を締結しました。両者は今後連携して、当該エリアをフィールドとした地域活性化事業や、帝塚山学院大学の学外拠点「泉ヶ丘駅 commons」における共創事業を展開していきます。

本協定の締結については、2026 年 1 月 13 日（火）開催の「泉ヶ丘駅 commons」オープニングセレモニーにて報告いたします。ぜひご取材ください。

■「泉ヶ丘駅 commons」オープニングセレモニー概要■

日時：2026 年 1 月 13 日（火）11:00～12:00 ※関係者限定

場所：帝塚山学院大学 ウェルビーイング共創ハブ 泉ヶ丘駅 commons
堺市南区茶山台一丁 2 番 3 号 泉ヶ丘ひろば専門店街 2 階
（南海泉北線「泉ヶ丘駅」改札を出て右へ徒歩約 3 分）

■「泉ヶ丘駅 commons」施設写真

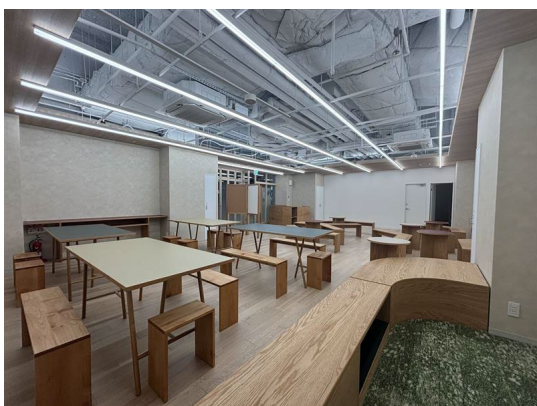
※泉ヶ丘駅 commons は、大阪を拠点に「ものづくり」を通して「暮らしを豊かにする」ことを目指すクリエイティブユニット graf (グラフ) の家具を取り入れています。施設詳細は別紙をご参照ください。



エントランス



まちに開く空間



共創する空間



学びの空間

■出席予定者■

堺市南区長 中山 真^な裕^か美^や 様

南海電気鉄道株式会社 常務執行役員・まちづくり推進室長 ^{にかや}二栢 ^{よしのり}義典

学校法人帝塚山学院 理事長 ^{のむら}野村 ^{まさあき}正朗

帝塚山学院大学 学長 西川 隆蔵

帝塚山学院大学 副学長・社会連携機構長・ウェルビーイング共創ハブ代表 にしかわ西川 よしかず 禎一 ほか

■式次第(予定)

10:45 受付開始（受付場所：泉ヶ丘駅コモンズ受付）

11:00 オープニング

11:05 挨拶：学校法人帝塚山学院 理事長 野村 正朗

11:20 記念撮影・テープカット（上記5名）

11:30 連携協定締結のご報告・両者コメント・記念撮影

11:40 施設説明・内覧

12:00 終了（流れ解散）

※記念撮影画像は後日提供可能です。取材・掲載をご希望の方は下記までお問い合わせください。

■オープン記念特別講座

「泉ヶ丘駅コモンズ」のオープンを記念して、

時代の鍵となる3つの分野の専門家を迎え、

“泉ヶ丘駅からはじまる地域のウェルビーイング
共創”をテーマに、共に考える機会を設けます。

Vol.1 2026 年 1 月 13 日 (火) 15:00~16:30

「社会疫学から考えるウェルビーイング共創」

帝塚山学院大学 副学長 西川 禎一

Vol.2 2026 年 2 月 10 日 (火) 18:00~19:30

「デザインから考えるウェルビーイング共創」

graf 代表 服部 滋樹 氏

Vol.3 2026 年 3 月 10 日 (火) 15:00~16:30

「アートから考えるウェルビーイング共創」

帝塚山学院大学 副学長 永草 次郎

※詳細は、別紙をご参照ください。

帝塚山学院大学 ウェルビーイング共創ハブ 「泉ヶ丘駅コモンズ」
オープン記念特別講座

駅でのゆるやかな 集いが生む 個人と社会のよい状態

ー社会疫学、デザイン、アートから考えるウェルビーイング共創ー

2026年1月13日(火)、帝塚山学院大学ウェルビーイング共創ハブの新たな拠点「泉ヶ丘駅コモンズ」が誕生します。本講座では、同施設がめざす「泉ヶ丘駅からはじまる地域のウェルビーイング共創」をテーマに、時代の縦と横の3つの分野の専門家を迎え、共に考える機会を設けます。地域と大学がともに歩み出す「共創の街」の第一歩として、新たな可能性をともに探っていきましょう。

事前申込制
参加無料
・先着順
・各回定員24名

会場 帝塚山学院大学 ウェルビーイング共創ハブ 泉ヶ丘駅コモンズ
泉ヶ丘ひろし商店前2階（南 泉ヶ丘北線泉ヶ丘駅 改札を出て右へ徒歩3分）

vol.1 「社会疫学から考えるウェルビーイング共創」

日時 2026年1月13日(火) 15:00~16:30

帝塚山学院大学 副学長・食糧政策学部長
社会政策学部長・ウェルビーイング共創ハブ代表

教授 西川 慎一
（えしかわ しんいち）

【申込締切】2026年1月5日（月）23：59

vol.2 「デザインから考えるウェルビーイング共創」

日時 2026年2月10日(火) 18:00~19:30

grafell, Inc. クリエイティブディレクター・デザイナー
京都府立大学大学院芸術学研究科 芸術環境専攻 文化デザイン・芸術教育領域統括

教授 服部 滋樹 氏
（へくべ しげき）

【申込締切】2026年2月2日（月）23：59

vol.3 「アートから考えるウェルビーイング共創」

日時 2026年3月10日(火) 15:00~16:30

帝塚山学院大学 副学長・リベラルアーツ学部長

教授 永草 次郎
（えいそう じやろう）

【申込締切】2026年3月2日（月）23：59

泉ヶ丘駅コモンズはgrafellが協賛を取り入れていました。

<https://forms.office.com/r/KA8QhgkBSw>

上記URLまたはQRコードより申し込みください。

複数講座の同時申し込みが可能です。

申込締切後の申し込みは、定員が満了を待たずに終了しております。

申し込み人数が定員を超えて付けない場合があります。

申込方法

QRコード読み取り

参考：2025 年 12 月 8 日 報道発表資料

「泉ヶ丘駅コモンズ」大学と地域をつなぐ学びと共創のスペースとして 1 月 13 日オープン！（帝塚山学院大学
×ATOMica）【プレスリリース】 | お知らせ | 帝塚山学院大学

帝塚山学院大学 ウェルビーイング共創ハブ 泉ヶ丘駅コモンズ

2026
1/13(火)
OPEN

泉ヶ丘駅コモンズは、
帝塚山学院大学と堺・泉北地域の多様な人々をつなぐ
駅前にひらかれた学びと共創のスペースです。

大学の知と地域の力、そして学生の挑戦を結び、
様々な活動を展開してまいります。

- ◆ ウェルビーイングを共に育み
- ◆ 地域課題の解決に共に向き合い
- ◆ 学び合いながら共に成長する

泉ヶ丘駅コモンズでの活動を通して、
“地域のよりよい未来”を 一緒につくっていきませんか？



泉ヶ丘駅コモンズについて

名称：帝塚山学院大学 ウェルビーイング共創ハブ 泉ヶ丘駅コモンズ

住所：堺市南区茶山台1丁2番地3 泉ヶ丘ひろば専門店街2階

(南海泉北線「泉ヶ丘駅」改札を出て右へ徒歩3分)

開設日：2026年1月13日(火)

開室日：火曜～土曜 11時～19時 ※スタッフ常駐

休室日：月曜・日曜・祝日



ここから始まること

- 帝塚山学院大学と堺・泉北地域の人々が出会い、つながるきっかけを生み出す。
- 地域と関わる授業やゼミ、プロジェクトを通して、学生が実践的に学び、成長する場を育てる。
- 講座やイベント、展示、ワークショップ、学び直しの講座などを通して、地域のことや身近な課題、ウェルビーイングに関心をもつ人が学び合える機会をひらく。
- 学びや活動の成果を発信・共有し、地域の中で新しい出会いや交流を生み出す。
- 一緒に学び、一緒に創ることを大切にしながら、地域のつながりとウェルビーイングを育む。

ここから広がるつながり

- 帝塚山学院大学の学生・教職員・卒業生、そして学院に関わる人たち
- 地域で活動する団体、NPO、企業、行政など、まちづくりに関わる人たち
- 学び直しや共創に関心のある人たち、地域づくりに取り組む人たち
- ウェルビーイングに取り組む人たち、または関心のある人たち
- 泉ヶ丘駅を日常的に利用し、地域での学びや交流に関心のある人たち
- 子育て世代、社会人、シニア、子ども、学生など、地域で暮らす多様な人たち



泉ヶ丘駅 commons の 3 つの空間

泉ヶ丘駅 commons
イメージ図

3

共創する空間

1

まちに開く空間

2

学びの空間

キッズスペース

「泉ヶ丘駅 commons」は、
多様な人々が安心して集い、つながりや
学びが育まれる“ひらかれた場”で
ありたいと考えています。

木のぬくもりをいかした graf の家具を
取り入れ、訪れる人が心地よく過ごせる
ように空間をデザインしました。

この場所から生まれるつながりや学びを、
地域のウェルビーイングへと
つなげていきます。

1. まちに開く空間

【地域と大学をつなぐ入口】

- ・ 関心やきっかけに応じて気軽に立ち寄り、掲示や展示を見たり、スタッフや他の来訪者と会話や交流ができるエリアです。
- ・ 地域にひらかれた掲示板や展示を備え、大学や地域の「いま」にふれながら、気軽な会話や交流が生まれる場として機能します。

この空間でできること

- ・ 大学や地域の取り組みの「いま」にふれる
- ・ 学びや活動につながる情報やきっかけを得る
- ・ 新しいつながりや関心が広がる



2. 学びの空間

【地域の学びの入口】

- ・ 世代を超えて共に学びながら、地域のことや身近な課題、ウェルビーイングについて学ぶことができるエリアです。
- ・ さまざまな立場や経験をもつ人と学び合うことで、気づきや理解が深まり、地域での活動や次の実践につながる場として機能します。

この空間でできること

- ・ 講座や学び直しを通して知識を深める
- ・ 地域や学生の取り組みにふれて視野を広げる
- ・ ウェルビーイングについて対話しながら学ぶ



3. 共創する空間

【地域との共創の入口】

- ・ さまざまな立場の人が集い、対話を通して、アイデアや想いを共有できるエリアです。
- ・ 同じ関心や課題を持つ人同士が出会い、対話を重ねながら、新しい取り組みや活動へとつながっていく場として機能します。

この空間でできること

- ・ 多様な人々と対話し、アイデアを共有する
- ・ 関心や課題に応じた活動のきっかけを見つける
- ・ 対話や交流を通し、共創の可能性を広げる



ご利用にあたって

- ※ すべての方が安心して過ごせる場となるよう、周囲の方へもご配慮いただき、社会的マナーに反する行為は控えください。
- ※ イベント利用や会議・打合せでのご利用も可能です。内容に応じて検討しますので、事前にスタッフまでお気軽にご相談ください。
なお、施設の性格上、営利目的でのご利用はできません。
- ※ 高校生以下の方のご利用（情報閲覧、イベント参加）も可能です。
自習のみを目的としたご利用はご遠慮いただく方向で検討中です。
- ※ 4月以降、ご利用内容によっては利用料金を設ける方向で検討中です。
- ※ ご不明な点やご意見、ご提案はスタッフまでお気軽にお声がけください。

最新情報はこちら



ぜひご登録
ください！



受講生募集中

リカレント教育
プレプログラム



大阪・堺の食をきっかけに
子どもや地域のこと
もっと知ってませんか？



詳細はこちら



働き手の減少や価値観の変化
に対応する、新しい働き方を
考えてみませんか？



詳細はこちら

駅でのゆるやかな 集いが生む 個人と社会のよい状態



ー社会疫学、デザイン、アートから考えるウェルビーイング共創ー

2026年1月13日（火）、帝塚山学院大学ウェルビーイング共創ハブの新たな拠点「泉ヶ丘駅 commons」が誕生します。本講座では、同施設がめざす“泉ヶ丘駅からはじまる地域のウェルビーイング共創”をテーマに、時代の鍵となる3つの分野の専門家を迎え、共に考える機会を設けます。地域と大学がともに歩み出す「共創の旅」の第一歩として、新たな可能性をともに探っていきましょう。

会場 帝塚山学院大学 ウェルビーイング共創ハブ 泉ヶ丘駅 commons
泉ヶ丘ひろば専門店街 2階（南海泉北線泉ヶ丘駅 改札を出て右へ徒歩3分）

事前申込制
参加無料

・先着順
・各回定員24名

vol.1

「社会疫学から考えるウェルビーイング共創」

日時 2026年1月13日（火）15:00～16:30

帝塚山学院大学 副学長・食環境学部長・
社会連携機構長・ウェルビーイング共創ハブ代表

講演者

にしかわ よしかず
教授 西川 禎一

【申込締切】2026年1月5日（月）23:59



vol.2

「デザインから考えるウェルビーイング共創」

日時 2026年2月10日（火）18:00～19:30

graf代表、クリエイティブディレクター、デザイナー、
京都芸術大学大学院芸術研究科 芸術環境専攻（修士課程）文化デザイン・芸術教育領域長

講演者

はっとり しげき
教授 服部 滋樹 氏

【申込締切】2026年2月2日（月）23:59



vol.3

「アートから考えるウェルビーイング共創」

日時 2026年3月10日（火）15:00～16:30

帝塚山学院大学 副学長・リベラルアーツ学部長

講演者

ながくさ じろう
教授 永草 次郎

【申込締切】2026年3月2日（月）23:59



※泉ヶ丘駅 commons は graf の家具を取り入れています。

<https://forms.office.com/r/KA8QhgkBSw>

上記URLまたは右記二次元コードよりお申し込みください。

複数講座の同時お申し込みが可能です。

申込期間終了後、受講のご案内をメールにてお送りいたします。

※お申し込みは先着順で受け付けております。

定員に達した場合は、ご参加いただけない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

申込方法



【申込フォーム】



帝塚山学院大学 ウェルビーイング共創ハブ

〒590-0113 大阪府堺市南区晴美台4-2-2

TEL.072-247-4567 Mail : osoc@tezuka-gu.ac.jp



【大学HP】

本学は、文部科学省及び日本私立学校振興・共済事業団が実施する「令和6年度 少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」事業において、メニュー1「少子化時代をキラリと光る教育力で乗り越える、私立大学等戦略的経営改革支援」の対象大学として選定されました。